

第2回 HACCP 講習会（缶詰・レトルト食品業界向け）のご案内

◆目的

一般的な HACCP 講習会ではさまざまな業種の参加者があることから、HACCP プラン作成の基礎知識の習得はできても、業種特有の危害要因・CCP 設定時の留意点等までは言及されません。そのため自社の HACCP プランを作成する場合、直接役立たないのが現状です。

この講習会では HACCP プラン作成方法に関して基礎知識をお持ちの方を対象に、缶詰・レトルト食品特有の危害要因、HACCP プラン作成時、特に密封工程・殺菌工程の CCP 設定時の留意点を解説し、自社の HACCP プランを抜けもれなく作成できる実力を養うことを目的とします。

◆対象者：・ HACCP プラン作成方法に関して、基礎知識をお持ちの方

- ・ 缶詰・レトルト食品に関する HACCP プラン作成に興味をお持ちの方
- ・ 食品業界（缶詰・レトルト食品でなくても可）での経験をお持ちの方

◆日時：2022年9月15日（木）9:30-16:30

◆会場：東洋食品工業短期大学（〒666-0026 兵庫県川西市南花屋敷 4-23-2）

◆講師：東洋食品工業短期大学 包装食品工学科准教授 宮尾宗央

経歴：総合食品メーカーにて30年余りレトルト食品等の新製品開発に従事、
2017年より東洋食品工業短期大学にて、食品製造・食品衛生に係る教育に携わる

◆定員：15名

◆受講料：12,000円（消費税込）

◆申込先

- ・ 申込は、参加申込書を東洋食品工業短期大学 宮尾宗央までメール送付ください。
（ norio_miyao@toshoku.ac.jp ）
- ・ 申込後、受講料振込先を連絡しますので、期日までにお振込みいただくようお願いします。
- ・ 不明点に関してはなんなりとメールにてお問合せください。

◆〆切：2022年9月2日（金）

◆講習会概要：第1回 HACCP 講習会に参加者の皆様からの意見を元に、一般的な HACCP プラン作成方法より、缶詰・レトルト食品業界特有の留意点に重点を置いて解説します。講習会概要は、以下の通りです。

1. はじめに

- ・ 缶詰・レトルト食品業界は「HACCPに基づく衛生管理」が要求される数少ない業界
- ・ 缶詰・レトルト食品業界における「加熱殺菌」の専門的知識の重要性

2. HACCP とは

- ・ボツリヌス菌対策からみた、HACCP に基づく衛生管理の優位性
- ・缶詰等の公的規制にみる HACCP の歴史
- ・HACCP7 原則 12 手順の概要

3. 製品説明書・フローダイアグラム作成時の留意点

- ・製品説明書に記載すべき重要な特性
- ・容器包装詰加圧加熱殺菌食品の定義と食品衛生法における規制
- ・商業的無菌の概念と対象菌・検査方法
- ・缶詰・レトルト食品の警告表示
- ・フローダイアグラム作成時に留意すべき工程（真空包装、冷却、滞留・リサイクル）

4. 注意すべき危害要因と危害要因分析のポイント

- ・ボツリヌス菌と耐熱性芽胞菌などの生物的危険要因とその対策
- ・缶詰・レトルト食品特有の化学的危険要因とその対策
- ・注意すべき工程と危険要因分析のポイント

5. 密封工程と CCP 設定時の留意点

- ・缶詰の巻締・パウチ・樹脂容器のヒートシールに関する一般衛生管理項目
- ・密封工程における CCP 設定項目とその概要

6. 加熱殺菌工程と CCP 設定時の留意点

- ・殺菌方式・内容物の特性に関する一般衛生管理項目
- ・殺菌工程における CCP 設定項目とその概要

7. まとめ・質疑応答

* 講習会開催に当たっては新型コロナウイルス感染防止対策として以下のことを実施いたしますので、講習会の円滑な運営にご協力をお願いします。

- ・講習会場入場時の手指の消毒（消毒液は本学で用意します）
- ・受講中のマスク着用（マスクは各自でご持参下さい）
- ・講習会場の定期的な換気

* また講習会中にせきや発熱、鼻水などの感染症の初期症状が疑われる症状が認められる方は受講の中止をお願いすることもありますので、ご承知おき下さい。

* このほか、新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う緊急事態宣言が継続発出され、兵庫県が宣言地域に含まれた場合、東洋食品工業短期大学が休校になった場合は講習会を中止いたします。また受講生の勤務先もしくはお住まいの地域が宣言地域に含まれ域外への外出等が制限された場合、受講のキャンセルを受け付けます。この場合は、キャンセル料等は発生せず、受講料等をすでに支払い済みの方には全額返金させていただきます。ただし公共交通機関およびご自身で手配された宿泊施設のキャンセルに伴う費用等に関しては、本学では負担できませんのでご注意ください。

以上